

音楽福祉ネットワーク通信

第9号

発行所

こんごう福祉センター 音楽プログラム研究班

代表 北宅 匠 (くすのき寮長)

音楽事務室 TEL&FAX 0721-34-3613

こんごう福祉センターに

春風に乗って

サイミスがやってきました!!

サイミスって?

みなさん、「サイミス(Cymis)」ってご存知ですか？

サイミス(Cymis musical instrument with score)はパソコンを使った電子楽器です。現在研究開発中で市販されていませんが、共同研究のために今年3月にサイミスが2台こんごう福祉センターに設置されました。

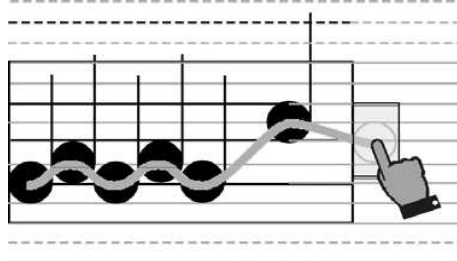
サイミスはバリアフリーの楽譜内蔵型電子楽器です

サイミスは「難しい楽曲でも簡単に演奏できる」「演奏を楽しめる」「上達ができる」ことを目的に開発されています。パソコンのタッチパネルの音符を順にタッチして音を出していきます。演奏者のテンポに合わせて伴奏も自動的に音が出ます。ゲーム感覚でいろいろな音楽が簡単に楽しめます。現在、数カ所の福祉施設で導入されていて好評だそうです。



新しい音楽活動の可能性

こんごう福祉センターでは今年の4月から、音楽の時間やすくよか療育療法科のリハビリの時間にサイミスを使う予定にしています。百聞は一見にしかず。興味がある方は、いつでも音楽担当者にご連絡ください。初めての方に向けたワークショップもする予定です。ぜひ一度サイミス体験をしてみてください。一緒に新しい楽器演奏を楽しみましょう。みなさん、お楽しみに～。



こんごう福祉センター
音楽プログラム研究班

輝く人・ひと・人

Cymis 研究会代表

インタビュー 赤澤堅造先生

(大阪工業大学教授・大阪大学名誉教授)

Q: サイミス研究を始められた理由は?

A: 元々、生物と電気工学をつなぐ研究をしていました。その中でも自動制御をテーマとしていました。筋電義手の研究や順天堂大学の真島英信先生(生理学)のご指導のもとで筋肉の研究をしていました。

Cymis 研究は、自分も含めて楽譜理解が難しかったり、年齢とともに不器用になってきても、簡単にそれなりに楽しく演奏できるような楽器を作りたいと思ったことが始まりです。それを、科学技術を活用してどう作るのかが研究テーマとなりました。楽譜を内蔵すること、タッチパネルを利用することを考え方のベースとしてシステムの研究開発をしました。

Q: 入力のスイッチに様々な工夫がありますが・・・

A: スイッチを重要視したのは福祉現場に行っ
て現場の声を聞いてからです。研究室の中では「福祉現場には入力のところでつまづく人が多い」という発想すらなかったので、これは何だと思いました。その後、現場の声と研究者のイメージをどう重ねるのかを考えるようになりました。



赤澤研究室の頼もしい学生さんたち 左から
山本さん(赤色スイッチ担当)
北村さん(セットアップ・全体担当)
中川さん(黒ボックス・マイコン担当)



大阪工業大学 工学部 ロボット工学科
赤澤研究室にて 2011年2月24日撮影

Q: サイミス研究会には実際にサイミスを使っておられる福祉施設の職員が参加されています。現場の声はどのようなものですか?

A: 非常に好評を得ています。サイミスの開発開始から10年以上経ており、研究室では基本システムに関する動作確認や性能評価は概ね完了しました。3年前から福祉現場での実践的研究を開始し、療法の観点からも運動機能や意欲の向上など貴重な成果が得られています。

Q: こんごう福祉センターでも次年度から、サイミスを実際に利用します。何かアドバイスがあればお願いします。

A: 科学技術者にとって福祉現場や音楽療法現場は学ぶべきことやヒントがたくさんあります(例えば、運動障害の実際を知り、スイッチの装置をどう設計するかを考える等)。これからは、研究者と現場を結ぶ場をどんどん作っていくことが大切だと思っています。初めからすべてが成功してばかりではありません。焦らず地道に一緒に考えながら研究していきましょう。

ありがとうございました。

丘の上のハーモニー

in こんごう福祉センター



第51回 ジャズSAX : 9月7日
 ゲスト : Swing MASAさん
 ギター 村田啓一さん

はるばる
 ニューヨークから
MASAさん
 が来てくださいま
 した!!

甘い歌声
 とギター
 の調べ
 うっとり



第50回 ギター弾き語り : 7月8日
 ゲスト : 中野ネコたるーさん

第52回 クリスマスコンサート : 12月23日
 ゲスト : 同志社香里 聖歌隊&ボランティア部



聖歌隊の天使のような歌声
 清らかなハンドベル奏。
 心に深く響きました。

フラワーガールズの
 みなさんによる素敵
 なフラダンスに会場
 は大喝采!

しっとり大人のムードのアンサン
 ブルを聴かせて下さいました。



第53回 アコースティックライブ : 1月22日
 ゲスト : 和泉市交響楽団のゆかいな仲間たち



第54回 みんなでつくるひとときコンサート
 2月16日 ゲスト : こんごう福祉センターを
 利用されている8組のみなさん

音楽ボランティアのみなさま、ありがとうございました。感謝の気持ちをこめて。

職員研修・音楽療法講座報告

大好評でした！！

ケアに生かされる声と笑顔



講師：ワタルさん



(福祉レクリエーションワーカー)



各地で活躍されているワタルさん

11月26日、大阪府障害者福祉事業団職員研修『音楽療法講座』が開催されました。講師は福祉レクリエーションワーカーのワタルさん。ワタルさんは特別養護老人ホームにて13年間、介護パートや作業療法助手・リハビリ体操講師をされ、老人病院では理学療法助手をされていました。

現在は、エアロビクスやソフトジャズダンスの講師をされており、日本舞踊や殺陣などにも造詣が深く、劇団も主宰されています。表現の達人ともいえるワタルさんに「ケアに大切な声と笑顔」をテーマに「声・表情・姿勢を魅力的に変身させる方法」についてワークショップ形式の研修をしていただきました。

ワタルさんの提案で、笑顔の作り方のレクチャーの前と後で、参加者が実際に携帯電話のカメラで自分の顔写真を撮り、表情の違いを確かめました。また声ひとつで印象が変わることや表情筋の鍛え方、立ち姿のポイント等を学びました。終始楽しくなごやかなムードで参加された方からは「表情、言葉、発声人が人に接する時に大切に努力も必要なんだと改めて思った」「ケアのプロとして表情がいかに大切か実感した」「実践にすぐに役立ちそう」「顔の筋トレで相手に笑顔で接したいと思った」など好評の感想が寄せられました。

音楽療法や音楽体操など、音楽に関するお問い合わせ：こんごう福祉センター音楽事務室
担当 本間知子 新熊基美 電話&FAX (0721-34-3613)

編集後記 40年近くレクリエーションセンターの中にあった音楽室が引っ越します。新しい音楽室の近くには、作業棟があり、生活介護施設利用の方々が毎日仕事をされています。新しい場所での色々な出会いが楽しみです。皆さんと一緒に音楽が響く場をたくさん創っていきたいなあと思っています。(H)



春が来た～
春が来た～

